HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	４．表
Author(s)	澤井, 玄; 中沢, 祐一; 矢原, 史希
Relation	北海道大学所蔵道北地方収集考古資料 = An Illustrated Catalogue of the Prehistoric Artifacts from northern Hokkaido, Japan / 澤井玄,中沢祐一編集 ; 澤井玄,中沢祐一,矢原史希執筆
Issue Date	2019-03-29
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77749
Type	book part
File Information	07Artifacts northern Hokkaido_42.pdf, 表2 石器属性表

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

表2　石器属性表

PLATE	遺物ID	地区	器種	部位	最大長	長さ	幅	厚さ	重量	石材	観察
7	1203-1-99-99-4-27	名寄	磨製石斧	完形	151.07	150.64	49.38	15.21	224.2	泥岩	両刃の磨製石斧。刃部には使用時の衝撃によるものと見られる欠損と多数の潰れが観察できる。
7	1203-1-99-99-4-28	名寄	尖頭器	下部欠損	116.68	116.31	29.56	9.19	42	黒曜石	基部側を欠損した尖頭器。石器の表裏に対して、使用の際のものと思われる石器長軸方向の多数の傷と稜線の顕著な磨耗が見られる。
7	1203-1-99-99-4-29	名寄	尖頭器	完形	82.8	82.8	25.06	7.93	13.1	黒曜石	素材の表裏に対して両側縁からの平坦な剥離により器体の厚みを減じた後、器体周縁に急斜度の浅い調整を行うことで器体の整形をしている。基部の一部に角礫状の礫面が僅かに残る。
7	1203-1-99-99-4-30	名寄	つまみ付きナイフ	完形	63.67	60.86	26.28	6.83	14.9	黒曜石	縦長剥片素材。石器表面の右側縁には急斜度の刃潰し調整を行い、裏面の右側縁に対しては平坦な角度からの調整により刃部を形成する。
7	1203-1-99-99-4-31	名寄	石鏃	中間部	33.7	33.7	19.27	4.63	2.2	黒曜石	基部と先端部を欠損。表面は左右からの対向する剥離により入念調整されるが、裏面は比較的粗雑な調整により製作される。
7	1203-1-99-99-4-32	名寄	石鏃	完形	26.74	26.74	10.24	3.67	0.9	黒曜石	左右非対称形の石鏃。石器の表裏に対して、器体の全周から平坦な角度からの調整を行い厚みを減じた後、急斜度の調整を基部付近に行いやや「く」の字状に曲がった形状に仕上げている。
9	1203-2-99-99-99-43	日進	磨製石斧	下部欠損	110.15	104.63	39.52	24.06	188.9	緑色泥岩	刃部欠損。刃部欠後、欠損面を打面として調整を行い、その後敲打を行い刃部再生を試みているが、作業は途中で終了している。
9	1203-2-99-99-99-44	日進	たたき石	上部欠損	105.81	105.81	52.76	17.8	170	泥岩	長軸方向の末端部および端軸方向の右側の末端部に敲打痕が残る。
9	1203-2-99-99-99-45	日進	尖頭器	完形	70.22	70.22	36.88	9.08	20.1	黒曜石	縦長剥片素材。裏面に素材の主剥離面を大きく残す。素材の表裏に対して両側縁からの平坦な剥離により器体の厚みを減じた後、器体周縁に急斜度の浅い調整を行うことで器体の整形をしている。日進と読める白書の注記あり。